

経済学史学会第 67 回大会プログラム

同志社大学 2003 年 5 月 24 日 - 25 日

5 月 24 日 (土) 第 1 日

自由論題 (報告 30 分, 討論 30 分, 会場移動 5 分)

時刻		第 1 会場 (S22)	第 2 会場 (S32)	第 3 会場 (S21)
9:45		開会挨拶 (主催校) (第 1 会場)		
9:55	論 題	J. S. ミルのエソロジーについて	マーシャルの貨幣理論における諸問題——現金残高アプローチと時間概念——	オーストリア学派の中のヴィーザー——機会費用概念を手がかりに——
10:55	報告者 司会者	川名雄一郎 (京都大学大学院) 深貝保則 (東京都立大学)	伊藤直広 (京都大学大学院) 橋本昭一 (関西大学)	大須賀直樹 (立教大学大学院) 田村信一 (北星学園大学)
11:00	論 題	ジョーゼフ・ラウンタリーのリベラリズム——フィランソロビーから社会改革へ——	Marshall-Young-Romer 成長モデル	0・ランゲの社会主義経済像——独占、経済的進歩、民主的統制の視点から——
12:00	報告者 司会者	岡村東洋光 (九州産業大学) 西沢 保 (一橋大学)	本間祥介 (日本大学) 伊藤 誠 (国学院大学)	塚本恭章 (日本学術振興会特別研究員) 有江大介 (横浜国立大学)
12:00		昼 食 ・ 休 憩		
13:00				
13:00		会 員 総 会 (第 1 会場)		
14:00				
14:05	論 題	アダム・スミスにおける共和主義と経済学	ケインズ『確率論』の経済学的意義	ネオ・オーストリア学派における均衡化傾向論
15:05	報告者 司会者	田中秀夫 (京都大学) 篠原 久 (関西学院大学)	清水徹朗 (農林中金総合研究所) 平井俊顕 (上智大学)	橋本 努 (北海道大学) 中山智香子 (東京外国語大学)
15:10	論 題	『国富論』再考——「商業社会」の政治経済学体系——	『確率論』と「若き日の信条」	アメリカにおけるオーストリア学派経済学の再生と発展——1970 年代を中心として——
16:10	報告者 司会者	稲村 勲 (札幌学院大学) 只腰親和 (横浜市立大学)	平井俊顕 (上智大学) 池尾愛子 (早稲田大学)	尾近裕幸 (国学院大学) 池田幸弘 (慶応義塾大学)
16:15	論 題	「貧民の被救済権」論者のマルサス批判と救貧法論	ベヴァリッジにおける経済参謀——経済助言官から包括的設計家へ——	経済学史におけるミュルダールの累積的因果関係論
17:15	報告者 司会者	森下宏美 (北海学園大学) 出雲雅志 (神奈川大学)	小峯 敦 (新潟産業大学) 栗田啓子 (東京女子大学)	藤田菜々子 (名古屋大学大学院) 八木紀一郎 (京都大学)

5月25日(日) 第2日

午前：自由論題 (報告30分, 討論30分, 会場移動5分)

時刻		第1会場 (S22)	第2会場 (S32)	第3会場 (S21)
9:55	論 題	ビグーの理想的功利主義の構造と厚生経済学	1930年代のLSEにおけるニコラス・カルドア—— 限界主義経済学からケインズ経済学へ——	柴田一高田論争について
10:55	報告者 司会者	山崎 聡 (一橋大学大学院) 上宮正一郎 (神戸大学)	木村雄一 (京都大学大学院) 若田部昌澄 (早稲田大学)	西 淳 (三重大学非常勤) 内田 弘 (専修大学)
11:00	論 題	Structural Reforms and the Role of Economists in Japan: From the 1980s to the Present	ポスト・ケインズ派の価格理論はなぜ方向を誤っ たのか?——マーシャル的競争による動態論を撰 取することの失敗——	安井琢磨のワルラス理論研究
12:00	報告者 司会者	池尾愛子 (早稲田大学) 水田 健 (東日本国際大学)	中村隆之 (京都大学大学院) 堂目卓生 (大阪大学)	林 康二 井上琢智 (関西学院大学)
12:00		昼 食 ・ 休 憩		
13:00				

午後：フォーラム

時刻		第1会場 (S22)	第2会場 (S32)
13:00	テーマ	Empire and Economics	産業主義とアソシアシオン——19世紀後半のフランス経済思想——
	組織者	Junichi Himeno (Nagasaki Univ.)	栗田啓子 (東京女子大学)・御崎加代子 (滋賀大学)
	司会者	Daisuke Arie (Yokohama National Univ.)	米田昇平 (下関市立大学)・喜多見 洋 (大阪産業大学)
	報告者 および 論 題	Peter Cain (Sheffield Hallam Univ.): ‘Gentlemanly Capitalism’ and ‘Classical’ Theories of Economic Imperialism Jiro Kumagai (Momoyama Gakuin Univ.): Mercantile Empire and Defoe’s Vision of the British Economic Circulation Yasunori Fukagai (Tokyo Metropolitan Univ.): ‘Uniting’ the British Regime and the Classical Political Economy Junichi Himeno: A Critical Comment on Peter Cain’s Interpretation of the ‘Radical View’ of J.A. Hobson’s Theory of Imperialism Tamotsu Nishizawa (Hitotsubashi Univ.)	栗田啓子：産業主義における政府と企業者 斉藤悦則 (鹿児島県立短期大学)：デュルケムとアソシアシオン 御崎加代子：ワルラス応用経済学とレッセ・フェール
17:00	討論者		中村秀一 (千葉経済大学)・高橋 聡 (中央大学非常勤)
17:00		閉会挨拶 (代表幹事) (第1会場)	

